

第四次長野市子ども読書活動推進計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の結果について

1 趣旨

本市では、平成30年4月に策定した「第三次長野市子ども読書活動推進計画」の成果と課題を踏まえ、今後子ども読書活動に関する施策を展開する上での方向性等を明らかにするため、「第四次長野市子ども読書活動推進計画」の策定を進めております。この計画（案）に対して、市民の皆さんから広くご意見・ご提案を募集しました。その結果をお知らせするものです。

2 募集期間

令和4年12月5日（月）から令和5年1月4日（水）まで（31日間）

3 募集方法

市ホームページ、広報ながの12月号への掲載及び教育委員会家庭・地域学びの課、行政資料コーナー、各支所、市立長野図書館、市立南部図書館、市立公民館・市交流センター、市生涯学習センターの窓口において計画（案）を公表し、書面又は電子メール等で意見・提案の募集を実施しました。

4 募集結果

（1）意見等の提出者数

個人：2人

（提出方法：電子申請1件、電子メール1件）

（2）意見の件数

9件

5 意見・提案に対する市の考え方

対応区分	対応方針	件数（件）
1	計画案を修正・追加する。	3
2	計画案に盛り込まれており、修正しない。	2
3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。	4
4	検討の結果、計画案に反映しない。	0
5	その他（他の計画で対応している等）	0
合 計		9

整理 番号	計画(案)の該当箇所		意見・提案内容	市・市教育委員会の考え方	計画への対応状況	
	頁	該当箇所			対応 区分	対応方針
1	4,9	保育園における絵本コーナー・市立図書館におけるリサイクル本の活用	各園で限られた図書予算内でコーナーの充実を図っていると思うが、毎月長野図書館まで数十冊を借りに行く園があるときいた。リサイクル本の活用だけではなく、保育園だけを巡回する移動図書館を新設するなどして、園児世代への読書推進活動に踏み込んだアイデアで力を入れて頂きたい。	長野図書館には保育園等の専用貸出図書があり、1回100冊まで貸出期間2か月の団体貸出を行っています。今後も保育園等の専用図書の充実を図り利用を促してまいります。移動図書館の新設は難しいですが、既存の取り組みを充実させていく中で、乳幼児の読書活動の推進を図ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
2	14	おひざで絵本事業の推進・充実	絵本を渡すとき、健康教室の取り組みとして、保健師が読み聞かせの重要性を家族のかかわりの重要性とともに伝える。絵本の手渡しの意味がわかるように、健康教室のスケジュールに組み込まれている必要がある。	7～8か月児健康教室において、ボランティアによる読み聞かせ体験の時間を設けています。現在コロナ禍で中止になっていますが、今後、再開を検討してまいります。また、保健師による個別相談の際に、パンフレット「たくさん子どもと触れあって」を用い、読み聞かせを推奨しています。	2	計画案に盛り込まれており、修正しない。
3	15	保健センター等における子ども読書活動への支援	妊娠・出産の早い時期によみきかせや話しかけなどをすることは有意義なことであると伝える。――7, 8か月より早い方がよい。	母子健康手帳交付時等に、妊産婦や保護者へ子どもの読書を推進するためのパンフレットの配布を検討してまいります。	2	計画案に盛り込まれており、修正しない。
4	16	教育・保育施設等における子どもの読書活動の推進	園児への図書の貸し出しや読書に関する情報の提供や職員の研修の実施などの担当課に市立図書館を加える。取り組みの実施に必要と思う。	保育園等で園児に直接貸出することは難しいと考えますが、園に対する団体貸出は行っておりますので、団体貸出し制度の周知と利用促進を図るため、新たに具体的な取組項目を追加します。情報提供については、毎月子供向けの館報を園に送付しており、「施策4 市立図書館等における子どもの読書活動の推進」、「1 市立図書館における取組」、「(1) 子ども対象の読書推進事業の充実」において、取り組みます。	1	計画案を修正・追加する。

整理 番号	計画(案)の該当箇所		意見・提案内容	市・市教育委員会の考え方	計画への対応状況	
	頁	該当箇所			対応 区分	対応方針
5	18	教職員の読書に関する意識の高揚と研修機会の充実	子どもの読書活動推進には学校図書館の役割が大きい。学校司書の充実が「学校図書館の運営にかかわる職員の充実」という司書、教諭もふくめたあいまいな表現になっている。市立図書館はP23(5)図書館司書の充実とあります。学校司書の充実に勤務時間を正規職員並みにした方がいい。また新規採用者に対する研修とともに計画的研修の実施が必要である。	今後も、学校司書から実情を聞き取り、ニーズに合わせて対応を検討してまいります。研修については、現在年3回の学校司書を対象とした研修の他に、地区ごとに年2～3回計画的に研修を行っております。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
6	20	特別な支援を必要とする子どもの読書環境の充実	読書バリアフリー法の制定は評価できるので学校司書や先生の研修をしてほしい。	今回、新たに特別支援の子どもを対象とした取組みを盛り込むことに伴い、今後、市立図書館とも連携しながら、特別な支援を必要とする子どもたちの読書環境の向上を、目指す研修を行ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
7	25	社会教育施設等における取組	具体的な取り組みの(上から)3(つ目)・4(つ目)に市立図書館入れる。本に関することは図書館です。	「市立図書館」の記載を追加します。	1	計画案を修正・追加する。
8	30	関係機関の連携と普及啓発の推進	具体的な取り組みの(上から)1(つ目)・3(つ目)・4(つ目)に小中学校を入れる。	1については、「庁内」であるため、小中学校は対象としませんが、3・4については、追記します。	1	計画案を修正・追加する。
9	32	第四次長野市子ども読書活動推進計画目標値及び設定根拠等	(提案) 各指標項目の数値目標の現状値(R3年度)は、各々の目標値をほぼ達成している。そのため、今後の5年間にふさわしい、新たな指標項目を設けて、子ども読書活動の推進を計画するべき。新たな指標項目(案)は以下のとおり。概要版の一覧表も、これに合わせる。 ○電子図書館の利活用 現状値(R3)未活用(0%) →目標値(R9)子ども部門の活用(100%) (理由) コロナ感染拡大の影響により、実際の図書館の利用も停滞している。 ただ一方では、小・中学校・高校においては、集合教育の代替手段として、各自1人1台ずつのタブレットが配布されて、オンライン授業も行われるようになってきている。また、最近、長野県内では、各市町村共通の電子図書館「デジとしょ信州」が開館して、子ども向けコンテンツも充実するようになってきている。長野市も、こうした電子図書館の利活用を、きちんと計画の中に盛り込むべきであるため。	現在、電子図書の学校教育における活用方法については検討段階であり、指標としては掲げることが難しいと考えますが、計画の取り組みの中で電子図書の活用を図ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。